

但馬水産技術センターだより



漁況情報 (G2242号)

令和5年3月28日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

1. 2022年度第2回対馬暖流系マアジ、さば類、いわし類長期漁海況予報のうち日本海予報対象魚種についてお知らせします。

国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所、一般社団法人漁業情報サービスセンター及び各府県水産関係機関が検討した2023年4月～9月の漁況予報をお知らせいたします。

【今後の見通し (2023年4月～9月)】

1. マアジ (日本海：島根県から青森県までの沿岸域とその沖合を含む海域 (陸奥湾含む))

来遊量：前年並みで、平年を下回る。

漁期・漁場：期間を通して、日本海西部が漁場となる。

魚体：15～22cmの1歳魚 (ゼンゴ・小銘柄) が主に、5～15cmの0歳魚 (豆・ゼンゴ銘柄) と22cm以上の2歳魚以上 (小・中・大銘柄) も漁獲される。

2. マサバ (日本海：島根県から青森県までの沿岸域とその沖合を含む海域 (陸奥湾含む))

来遊量：前年を下回り、平年並み。

漁期・漁場：期間を通して、日本海西部～中部が漁場となる。

魚体：漁期前半は26～32cmの1歳魚 (豆・小銘柄) と33cm以上の2歳魚以上 (小・中銘柄) が、漁期後半は1・2歳魚に加えて、25cm以下の0歳魚 (豆銘柄) が主に漁獲される。

3. マイワシ (日本海：島根県から青森県までの沿岸域とその沖合を含む海域 (陸奥湾含む))

来遊量：前年・平年を上回る。

漁期・漁場：漁期前半に日本海西部～中部、後半に日本海西部の沿岸域が漁場となる。

魚体：漁期前半は16～22cmの1～3歳魚 (小・中・大羽銘柄) 主体に、後半は5～15cmの0歳魚 (小・中羽銘柄) が漁獲される。

※「前年」は2022年4月～9月。

※「平年」は過去5年の平均値。

※「並み」はCPUE等指標値の±20%の範囲。

予報内容の詳細および東シナ海 (鹿児島県から山口県までの沿岸とその沖合を含む海域) は、国立研究開発法人水産研究・教育機構のホームページをご覧ください。

(<https://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2022/index.html>)

お問い合わせ先：兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当：鈴木)

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684

email：nourinc_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ： <https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/>

(別紙参考資料：水産研究教育機構の予報資料一部抜粋)

マアジ対馬暖流系群の漁況予報

今後の見通し (2023年4月～9月)

対象海域：東シナ海・日本海

対象漁業：まき網、定置網、その他

対象魚群：0歳魚 (2023年級群 (2023年生まれ))、1歳魚 (2022年級群)、2歳魚 (2021年級群)。

魚の大きさは尾又長で表示。

1. 東シナ海

(1) 来遊量：沖合域は前年・平年並み、沿岸域は前年並みで、平年を上回る。

(2) 漁期・漁場：期間を通して、東シナ海中・南部、対馬沖、沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体：15～25cmの1歳魚 (ゼンゴ・小・中銘柄) が主に、5～15cmの0歳魚 (豆・ゼンゴ銘柄) と25cm以上の2歳魚以上 (中・大銘柄) も漁獲される。

2. 日本海

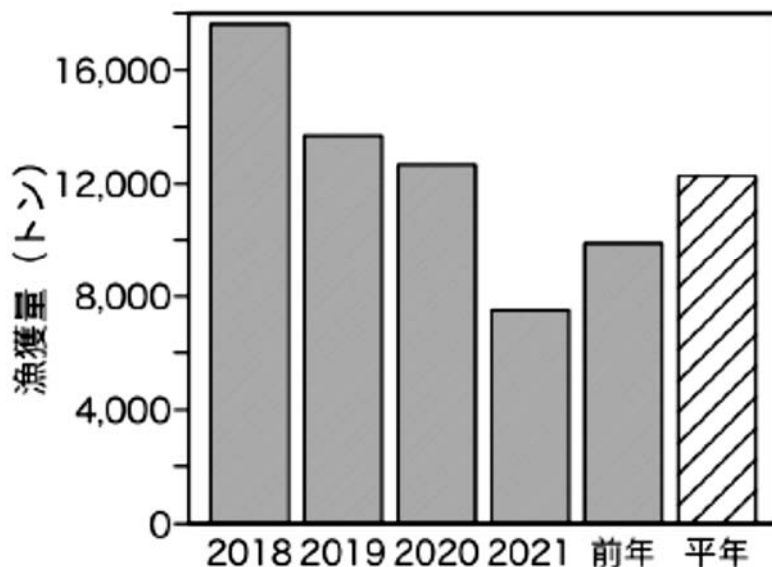
(1) 来遊量：前年並みで、平年を下回る。

(2) 漁期・漁場：期間を通して、日本海西部が漁場となる。

(3) 魚体：15～22cmの1歳魚 (ゼンゴ・小銘柄) が主に、5～15cmの0歳魚 (豆・ゼンゴ銘柄) と22cm以上の2歳魚以上 (小・中・大銘柄) も漁獲される。

注：「前年」は2022年4月～9月。「平年」は過去5年の平均値。「並み」はCPUE等指標値の±20%の範囲。沖合域とは大中型まき網が操業する対馬周辺から東シナ海。

マアジ (日本海)



今後の見通し参考図

日本海沿岸漁業の漁獲量は、島根県～青森県の主要漁業 (大中型まき網漁業を含む) 漁獲量。4月～9月。平年は過去5年平均。

マサバ対馬暖流系群の漁況予報

今後の見通し（2023年4月～9月）

対象海域：東シナ海・日本海

対象漁業：まき網、定置網、その他

対象魚群：0歳魚（2023年級群（2023年生まれ））、1歳魚（2022年級群）、2歳魚（2021年級群）。
魚の大きさは尾叉長で表示。

1. 東シナ海

(1) 来遊量：沖合域、沿岸域とも前年・平年並み。

(2) 漁期・漁場：期間を通して、東シナ海中・南部、五島西、対馬沖、沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体：漁期前半は26～32cmの1歳魚（豆・小銘柄）と33～35cmの2歳魚（小銘柄）が、漁期後半は1・2歳魚に加えて、25cm以下の0歳魚（豆銘柄）が主に漁獲される。

2. 日本海

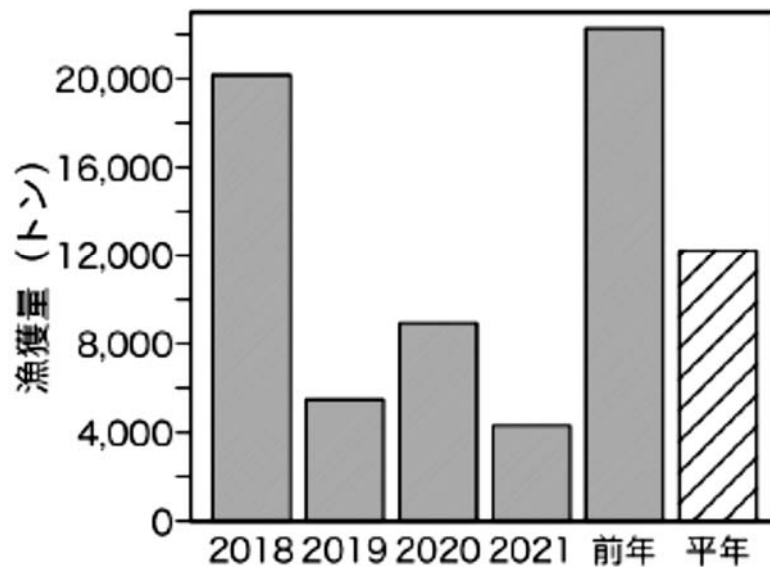
(1) 来遊量：前年を下回り、平年並み。

(2) 漁期・漁場：期間を通して、日本海西部～中部が漁場となる。

(3) 魚体：漁期前半は26～32cmの1歳魚（豆・小銘柄）と33cm以上の2歳魚以上（小・中銘柄）が、漁期後半は1・2歳魚に加えて、25cm以下の0歳魚（豆銘柄）が主に漁獲される。

注：「前年」は2022年4月～9月。「平年」は過去5年の平均値。「並み」はCPUE等指標値の±20%の範囲。沖合域とは大中型まき網が操業する対馬周辺から東シナ海。

マサバ（日本海）



今後の見通し参考図

日本海沿岸漁業の漁獲量は、島根県～青森県の主要漁業（大中型まき網漁業を含む）漁獲量。4月～9月。平年は過去5年平均。

マイワシ対馬暖流系群の漁況予報

今後の見通し（2023年4月～9月）

対象海域：東シナ海・日本海

対象漁業：まき網、棒受網、定置網、その他

対象魚群：0歳魚（2023年級群（2023年生まれ））、1歳魚（2022年級群）、2歳魚（2021年級群）、3歳魚（2020年級群）。魚の大きさは被鱗体長で表示。

1. 東シナ海

(1) 来遊量：前年・平年を上回る。

(2) 漁期・漁場：期間を通して、長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体：漁期前半は主に15～19cmの1歳魚に2歳以上が混ざり（中・大羽銘柄）、後半は15cm以下の0歳魚（小・中羽銘柄）が主体に漁獲される。

2. 日本海

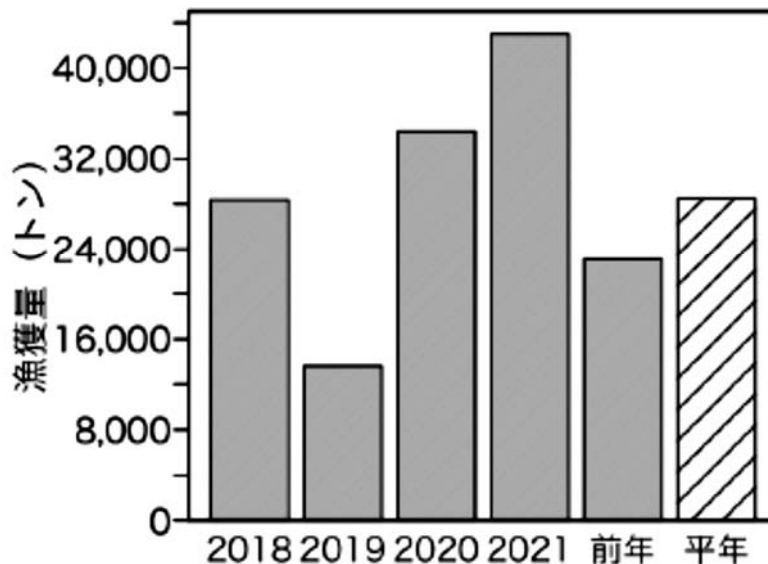
(1) 来遊量：前年・平年を上回る。

(2) 漁期・漁場：漁期前半に日本海西部～中部、後半に日本海西部の沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体：漁期前半は16～22cmの1～3歳魚（小・中・大羽銘柄）主体に、後半は5～15cmの0歳魚（小・中羽銘柄）が主体に漁獲される。

注：「前年」は2022年4月～9月。「平年」は過去5年の平均値。「並み」はCPUE等指標値の±20%の範囲。

マイワシ（日本海）



今後の見通し参考図

日本海沿岸漁業の漁獲量は、島根県～青森県の主要漁業（大中型まき網漁業を含む）漁獲量。4月～9月。平年は過去5年平均。